

協働

学校支援ボランティア感謝状贈呈式開催



10月25日（金）、町田市民フォーラム3階ホールにおいて、第15回町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式を挙行了しました。町田市教育委員会は、本年度より小池慎一郎教育長をお迎えし準備を進めて参りました。当日は、学校支援ボランティアの皆様をはじめ、各校の校長先生、副校長先生、VCの皆様にも多数ご参列いただき、町田市の小中学校と地域の皆様とのつながりの深さを改めて感じることもできる貴重な時間となりました。今年度の対象者は、個人の部23名、団体の部10団体でしたが、小池慎一郎教育長から、お一人お一人のこれまでの活動に感謝する言葉とともに、感謝状を贈呈させていただきました。スクリーンには、事前に各校よりご提供いただきました受領者の皆様の地域学校協働活動の様子を投影し、紹介コメントをア



ナウンスさせていただきましたので、参列者の皆様にとっても、他校での特色ある活動について学ぶ良い機会となっております。

今回、受領者の皆様を代表して、個人の部では、町田市立相原小学校で4年生の野草調べの学習支援を長年



続けてきてくださっている川本 秀雄様と佐々木 清子様、団体の部では、鶴川第三小学校で長年「出前お話会」を実施して下さっている柿の木文庫の鈴木 亜子様よりご挨拶をいただきました。

川本様は、高等学校の生物の教員として高校生の指導にあたるかたわら、蘭を中心に研究を進めて来られました。さらに、都立大学の牧野標本館で10年間勤務され、植物の知識をもって研究に携わる人たちの力になりました。佐々木様は、東京都の自然公園ボランティアとして豊富な経験をもち、高尾山で22年間という長きにわたり従事されました。お二人とも、10年以上にわたり相原小学校の4年生の野草観察授業に携わり、専門的な知識と幅広い話題で子供たちの理解を大きく深めてこられました。団体部門で表彰された、「柿の木文庫」は、1984年に誕生し1990年代には7つの小学校で語り、保育園、市民センター等、地域でのお話会を中心に各方面で活動されている団体です。現在は、鶴川エリアを中心に鶴川三小、大蔵小、三輪小、私立和光小で活動され、子供たちに本やお話の楽しさを伝え、子供たちが力強く前向きに生きることを願って活動しているそうです。ここでご紹介はできませんでしたが、その他にも各学校から推薦された多くの皆様方の支援に対し、敬意を表します。締めくくりは、関根教育委員から閉会の言葉をいただきました。

閉会後には、受領者の皆様の記念撮影を行い、ささやかですが、壇上に飾られていたお花を小さな花束にして一人一人にお渡しして感謝状贈呈式を無事終えることができました。

